


市章	所在地	〒976-8601 相馬市中村字北町63-3	
	所在地標高	海拔 7.9m	
	T E L	0244-37-2120	F A X 0244-35-4196
	U R L	https://www.city.soma.fukushima.jp/	

キャッチフレーズ 民謡と野馬追の里

市花 市木 市鳥
花 木 鳥
春-さくら 秋-ききょう 木 鳥
夏-はまなす 冬-さざんか くらまつ うぐいす

区分	氏名(ふりがな)	任期満了日	報酬(月額)
市長(1期)	阿部勝弘	令和12年1月18日	985.0千円
副市長			790.0千円
議長	杉本智美	令和9年11月19日	445.0千円
副議長	山中宣明	令和9年11月19日	395.0千円

市の概要

(自然条件)
福島県浜通り地域の北部に位置し、東西28km、南北13kmと細長く、西には阿武隈山系が連なり東は太平洋に臨む。海洋性気候により夏は涼しく、冬の降雪は少ない。年間平均気温は14.7℃と全般的に快適な居住環境にある。

(産業・経済)
農業は稲作を中心に野菜・果樹などの複合経営が展開されている。漁業は震災前の水揚げ水準に増やしていくための拡大操業を行っている。近年はトラフグの漁獲量が増えており、「福とら」とブランド化し誘客に取り組んでいる。工業は相馬港後背地の相馬中核工業団地東地区と内陸部の西工業団地を中心に優良な企業の立地が着実に進んでいる。

(観光・文化)
日本百景のひとつにも数えられる松川浦は県内唯一の潟湖であり、小島が点在する風光明媚な佇まいが日本三景のひとつ、松島に似ていることから「小松島」とも呼ばれている。また、国の重要文化財の相馬中村神社をはじめ、大手門やお堀など、相馬中村藩の城下町の名残が残っている。

(伝統行事・伝統芸能)
国重要無形民俗文化財・相馬野馬追(毎年5月末の土、日、月曜日)、相馬盆踊り大会(8月中旬)、相馬民謡全国大会(10月)、相馬宇多郷神楽舞(6・9月)。

(特産品)
いちご、梨、相馬牛、米、醬油、青のり、タコ、カニ、カレイ、コウナゴ、ツブ貝、ホッキ貝、アンコウ、トラフグ、ドンコ

R8年度重点事業

(震災以外)○公立相馬総合病院事業	483百万円
〃 ○光陽サッカー場管理運営経費	341 〃
〃 ○学校給食無償化事業	212 〃
〃 ○総合行政情報システム事業	142 〃
〃 ○小学校施設営繕事業	83 〃
〃 ○ICT活用教育支援事業	70 〃
〃 ○住宅管理総務経費	62 〃
〃 ○空き家対策総合支援事業	22 〃
(震災関連)○原子力災害健康対策事業	11 〃
〃 ○震災孤児等支援事業	4 〃

主な地域開発区域指定状況

辺地	過疎	準過疎	山村	豪雪
特豪	農産	特農	原発	

区分	人口	うち15歳未満人口	うち65歳以上高齢者人口	世帯数	うち高齢者単身世帯数	面積
H17年調	38,630人	5,728人	9,221人	12,594世帯	943世帯	197.79km ²
H22年調	37,817人	5,187人	9,577人	13,227世帯	1,172世帯	人口密度
H27年調	38,556人	4,893人	10,736人	15,209世帯	1,602世帯	163人/km ²
R2年調	34,865人	4,215人	10,792人	13,875世帯	1,658世帯	
R7.1.1住基	32,261人	3,589人	10,775人	14,242世帯	高齢化率	33.40% 県下46位
産業別就業人口(R2年国調)	第1次産業 (8.1%) 1,317人	第2次産業 (33.8%) 5,524人	第3次産業 (58.1%) 9,487人	一人当たり所得(R4年)		3,055千円 県下7位

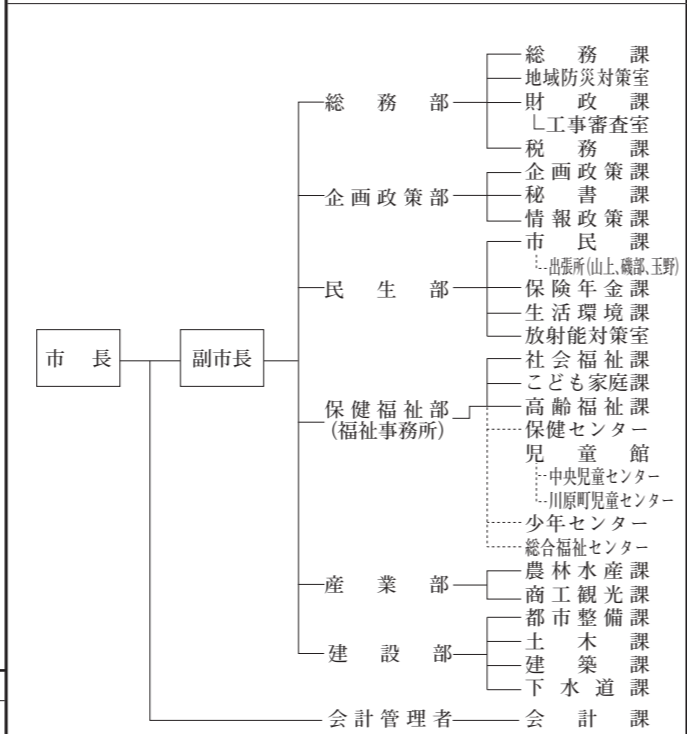
有権者数 R8.3.1	男	13,457人	女	13,670人	計	27,127人
議員	(旧)法定上限	26人	条例定数	18人	衆議院議員選挙区	
	現員	18人	任期	令和9年11月19日	第4区	

市の沿革
昭29.3.31合併(市制施行)中村町、大野村、飯豊村、八幡村、山上村、玉野村、日立木村、磯部村

総合計画等の策定状況

名称	相馬市総合計画「相馬市マスタープラン2017」	
策定年月日	平成28年12月21日	計画期間 平成29年度から令和8年度まで

組織機構



会計管理者へ続く線を追加しております。ご確認ください。

一部事務組合等への加入状況

福島県市民交通災害共済組合
相馬地方広域市町村圏組合
相馬地方広域水道企業団
相馬方部衛生組合

職員数	一般行政職員 240人	技能労務職員 22人	教育職員 11人	その他 36人	条例定数
	R8合計	企業職員、税務職員、福祉職員、看護・保健職員等のほか、1年を超えて勤務する定数外職員を含む。			401人
		R4	R5	R6	R7
	職員総数	316人	316人	309人	306人

財政(普通会計)											
(1) 決算											(千円)
区分	歳入	歳出	形式収支	実質収支	実質単年度収支	積立金現在高	うち財政調整基金	地方債現在高	翌年度以降債務負担行為残高		
R4決算	26,825,079	24,633,431	2,191,648	584,818	▲544,821	9,413,120	4,231,597	17,356,445	3,746,568		
R5決算	24,590,055	23,469,710	1,120,345	1,015,785	1,081,041	11,104,747	5,171,671	16,203,442	3,029,018		
R6決算	20,635,647	20,002,411	633,236	578,977	▲650,995	12,086,591	5,407,484	14,833,283	1,857,364		

(2) 指標 ()は類似団体 (千円・%)

区分	標準財政規模	財政力指数	経常収支比率	健全化判断比率				資金不足比率	
				実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	比率	備考(事業名等)
R4決算	(11,652,507) 10,195,720	(0.38) 0.67	(92.3) 93.9	-	-	(8.9) 11.4	15.7		
R5決算	(11,757,504) 10,207,170	(0.37) 0.64	(93.0) 95.0	-	-	(9.0) 11.0	-		
R6決算	(11,924,240) 10,392,898	(0.38) 0.62	(93.3) 92.8	-	-	(8.9) 11.2	-		

(3) 主な歳入 ()は構成比 (千円・%)

区分	地方税	地方交付税	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	計
R4決算	(20.0) 5,355,280	(28.2) 7,562,791	(19.2) 5,162,845	(8.6) 2,316,381	(5.2) 1,385,180	(18.8) 5,042,602	(100.0) 26,825,079
R5決算	(21.7) 5,341,171	(20.7) 5,095,425	(21.8) 5,354,020	(6.1) 1,489,931	(3.1) 767,000	(26.6) 6,542,508	(100.0) 24,590,055
R6決算	(26.3) 5,428,389	(23.1) 4,777,063	(15.5) 3,198,545	(5.8) 1,206,113	(2.9) 601,500	(26.3) 5,424,037	(100.0) 20,635,647

(4) 主な歳出 ()は構成比 (千円・%)

区分	人件費	物件費	補助費等	扶助費	公債費	普通建設事業費	その他	計
R4決算	(12.3) 3,028,603	(10.2) 2,504,136	(15.7) 3,855,368	(13.5) 3,319,663	(7.4) 1,834,916	(20.1) 4,950,362	(20.9) 5,140,383	(100.0) 24,633,431
R5決算	(12.1) 2,833,189	(9.7) 2,283,767	(11.6) 2,717,920	(14.6) 3,421,024	(8.4) 1,972,648	(22.3) 5,230,157	(21.4) 5,011,005	(100.0) 23,469,710
R6決算	(14.6) 2,924,020	(13.1) 2,622,774	(15.1) 3,024,538	(17.2) 3,441,393	(10.1) 2,019,931	(12.0) 2,405,609	(17.8) 3,564,146	(100.0) 20,002,411

(5) 税の徴収率(国民健康保険税除く) (%)

R6決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち		R5決算	現年課税分	滞納繰越分	計	現年課税分のうち	
	99.0	17.3	96.0	市(町村)民税	固定資産税		98.9	20.0	95.9	市(町村)民税	固定資産税

公共施設整備状況

道路延長	都市公園面積	公営住宅等	幼稚園	認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	短大・大学
657,000m	333,995㎡	755戸	8園	1園	9校	4校	1校	2校	1校
老人ホーム	公民館	集会施設	診療所	病院	道路改良率	道路舗装率	永久橋比率	上水道普及率	下水道普及率
1所	9館	7,033㎡	41所	295床	70.6%	74.0%	98.2%	97.0%	53.6%

公営企業(R6決算) ()は法適用企業にあっては経常損益、法非適用企業は実質収支(千円)

(法適用)	(法非適用)	主な郷土出身者
		佐藤玄々(彫刻家、元芸術院会員)、鎌田正(文学博士)、志賀駿男(大相撲元関脇栃東・先代玉ノ井親方)、堀下さゆり(シンガーソングライター)、鈴木尚広(元プロ野球選手)、渡辺祐介(モトクロスライダー)、今野源八郎(経済学博士)、草野俊助(理学博士)、荒中(元日本弁護士連合会会長)

今後の主要課題

(震災以外) ○市民協働による健全な基礎自治体づくり ○安心な子育て環境の整備と心豊かなひとづくり ○地域特性を活かした良質な産業づくり ○地域の文化を守り心豊かに生き抜くひとづくり ○環境を守り安全に暮らせるふるさとづくり ○健やかに安心して暮らせる地域づくり ○着実な社会資本の整備と計画的な維持管理によるまちづくり	(特色ある施策) ○行政経営システム(ISO9001)	㈱福装、ソマ㈱、ニダック精密㈱、三星化学工業㈱、㈱アリーナ、成田食品㈱、TACO精機㈱、特殊メタル㈱、㈱デンロコーボレーション、フィルムテック・ウォーター・ジャパン㈱、㈱ADEKA、オリエンタルモーター㈱、㈱IHI、相馬共同火力発電㈱、㈱サンエイ海苔、㈱ファイマテック、㈱常磐谷沢製作所、㈱東北三之橋、㈱大橋工業、ハクゾウメディカルテクノ㈱、フジモールド工業㈱、コスモ精機㈱、㈱IHIキャスティングス、㈱IHIジェットサービス、相馬エネルギーパーク合同会社、有明興業マテリアルズ㈱、相馬エネルギーサポート㈱、㈱アイテック、キンセイマテック㈱、㈱タケエイ、㈱IHIビジネスサポート、㈱ドリームズファーム
(震災関連) ○震災から復興した新たな相馬づくり	(姉妹都市) 千葉県流山市(昭52~) 北海道大樹町(昭58~) 北海道豊頃町(昭58~) 東京都稲城市(平27~)※友好都市	